



防災、こんな時どうする?
「地域の集合場所で行うこと」



「地域の集合場所」とは、大規模な地震が発生したとき、御近所同士で集まって、避難などのために集合する場所です。



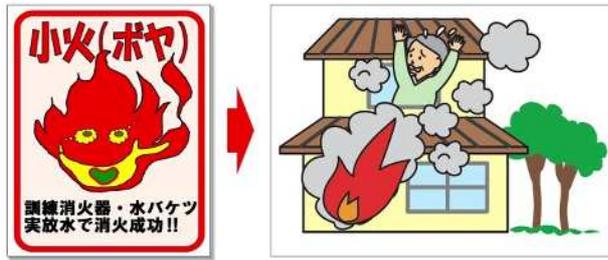
町内会などの自主防災部で決められています。



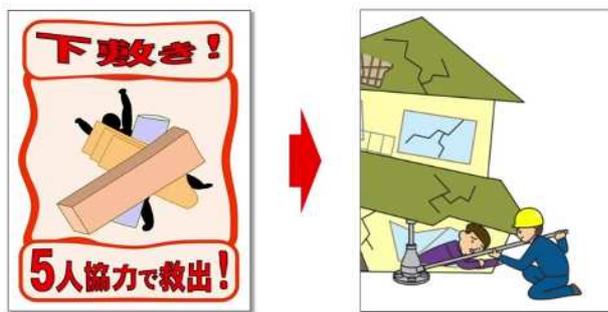
京都市消防局では、地域の集合場所に集まって、スムーズな防災行動ができるように、地域発災型訓練「VS.地震」という訓練を行っています。

地域発災型訓練「VS.地震」を簡単に紹介します。

訓練は、地震が発生したとの想定で行い、参加者は自分や自宅周囲の安全が確認できたら、地域の集合場所に向かいます。



近所で小火(ボヤ)や玄関ドアが開かないため避難できない人, 家が倒壊し下敷きになっているなど



地域の集合場所に着くまでに, 色々な訓練想定パネルを用意します。



地震で一番怖いのは火災です。
「小火(ボヤ)」のパネルを見つけたら, すぐに用意していた訓練用消火器などで初期消火を行います。



地域の集合場所に集まってから班を組んで, 救出や避難誘導の訓練を行います。
一人ではできないこともみんなの力を合わせて行うことで, 命を助けられることがあります。

『1分』で分かる自主防災 ～BOSA | アニメ～ 音声ナレーション



全ての訓練が終われば、もう一度、地域の集合場所に集まって、みんなでまとまって指定避難所へ避難する訓練を行いましょう。



地域の人みんなで力を合わせて、消火や救出などを行えるようにするためにも



地域発災型訓練に参加して大規模地震に備えましょう。

自分の命は自分で守る！



自分と大切な人を守るために！

自分の命は自分で守る！
自分と大切な人を守るために！